

論文審査の要旨

報告番号	甲・㊦ 第 3055 号	氏 名	堀 祐郎
論文審査担当者	主査 後閑武彦 教授 副査 瀧本雅文 教授 副査 青木 淳 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>これまで, 冠動脈 CTA の撮影開始位置として, 気管分岐部が一般的に用いられてきたが, 気管分岐部と左冠動脈上縁とは距離が離れており, 余分な放射線被曝を与えている可能性があった. そこで, 左主気管支上縁が冠動脈 CTA の最適な撮影開始位置の指標となるか否かについて検討した. 連続する 693 例の冠動脈 CTA 画像を後方視的に検討した. まずスカウト画像から, 気管分岐部の高さで左主気管支上縁の高さを記録した. 次に冠動脈 CTA 元画像から左冠動脈上縁の高さを記録した. 気管分岐部と左冠動脈上縁の位置関係と距離, 左主気管支上縁と左冠動脈上縁の位置関係と距離をそれぞれ求めた. 気管分岐部が左冠動脈上縁よりも尾側に位置したのが 2 例 (0.3%) にみられた. 一方, 左主気管支上縁が左冠動脈上縁よりも尾側に位置したのが 13 例 (1.9%) にみられた. 左主気管支上縁の 1cm 頭側を指標とすると左冠動脈上縁よりも尾側に位置するのが 1 例 (0.1%) に減少した. 撮影開始位置を気管分岐部から左主気管支上縁の 1cm 頭側に変えると, 平均で 5.6mm 撮影範囲を絞ることができ, これにより被曝量を 0.36-0.64mSv 低減できると試算された.</p> <p>本論文は被曝低減に結びつく、新しい知見を得た臨床上価値あるものであり、学位授与に値すると判定した。</p> <p>論文題名 : Alternative starting position for CT coronary angiography (冠動脈 CTA の最適な撮影開始位置の検討)</p> <p>掲載雑誌名 : THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES (Vol.30・No.4・2018)</p>			

(主査が記載、500 字以内)